

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	A-G01
授業科目名		授業形態		学科・コース		
ビジネス知識		演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	小笹 隆一	
<b>授業の目的・目標</b>						
就職活動の筆記試験において求められる一般常識や小論文の書き方、および、社会人として組織で働く上で身に付けておきたい知識を学ぶ。						
<b>授業の概要</b>						
就職活動対策として、SPI や一般常識テストで多く問われる問題や、小論文の書き方、時事問題の知識を、問題演習を通して学ぶ。						
<b>成績評価の方法</b>						
期末試験の結果を主とし、授業態度や出席率、授業内での小テストの結果を加味して評価する。					期末試験	70%
					小テスト	15%
					出席率	15%
<b>使用テキスト・教材</b>						
・プリントを配布する						
<b>授業内容・授業計画</b>						
			時間数			時間数
1. 一般常識 国語			8			
2. 一般常識 数学			8			
3. 一般常識 英語			8			
4. 一般常識 社会			6			
5. 一般常識 理科			6			
6. 一般常識 常識			4			
7. 小論文			6			
8. SPI 言語分野			6			
9. SPI 非言語分野			6			
10. 時事問題			2			
<b>その他</b>				<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-G02
授業科目名			授業形態	学科・コース	
コミュニケーション活動 I			演習	医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	杉森 千夏
授業の目的・目標					
学校行事をはじめ、通常の科目の学習を超えた様々な学習活動を行う。					
授業の概要					
コミュニケーションを深めるとともに集団生活における役割・分担を再確認する。					
成績評価の方法					
出席率および授業態度において評価する。				出席率	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	入学式		2		
2.	始業式		2		
3.	終業式・成績発表		2		
4.	始業式・防災訓練		2		
5.	秋のハイキング		8		
6.	卒研発表会		4		
7.	病院実習報告会		4		
8.	成績発表		2		
9.	進級発表		2		
10.	終業式		2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-G03
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動Ⅱ			演習		医療事務科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	湯山 歩実
授業の目的・目標					
学校行事をはじめ、通常の科目の学習を超えた様々な学習活動を行う。					
授業の概要					
クラス内の生徒とのコミュニケーションを深めると共に、組織の中で生活する上で必要な能力を身に付ける。					
成績評価の方法					
出席率および授業態度において評価する。					出席率 50%
					授業態度 50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 始業式			2		
2. クラス内コミュニケーション			60		
3. 病院実習報告会			4		
3. 終業式・成績発表			2		
4. 始業式・防災訓練			2		
5. 秋のハイキング			8		
6. 救命救急講座			4		
7. テーブルマナー講座			2		
8. 卒研発表会 (医療事務科)			4		
9. 成績発表			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-G04
授業科目名		授業形態		学科・コース	
フレッシュマンセミナー		演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	杉森 千夏
授業の目的・目標					
沼津情報・ビジネス専門学校 <sup>の</sup> 学生として、基本的な生活態度を身につける。 グループで考え行動することで、クラスメイトや同期生 <sup>に対しての</sup> 仲間意識を持つ。					
授業の概要					
アクティビティやワークを繰り返す中で、楽しみながら沼情 <sup>における</sup> 学生生活を理解する。					
成績評価の方法					
出席率および授業態度 <sup>において</sup> 評価する。				出席率	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		16			
2. 100マス紹介		2			
3. プレースメントテスト		2			
4. カードゲーム		2			
5. 心の授業		2			
6. ウォークラリー／避難経路確認		2			
7. 医療事務科交流会		4			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-G05
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアディベロップメントⅠ		演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	杉森 千夏
授業の目的・目標					
社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルや周囲との関わり方、職業観など幅広く考え、理解する。					
授業の概要					
コミュニケーションの基本的な考え方とスキルを訓練する。 コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。 医療業界について学び理解を深める。					
成績評価の方法					
出席率および授業態度において評価する。				出席率	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
・オリジナル資料					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. BCSA 診断		2	8. 傾聴力、状況把握力		2
2. コミュニケーションの基本 心理的環境の管理		2	9. 発信力、主体性		2
3. 表現方法の調整		2	10. 問題発見力、計画力		2
4. 質問の活用		2	11. 実行力、ストレスコントロール力		2
5. 相手からのメッセージへの対応		4	12. 柔軟性		2
6. 物理的環境の整備		2	13. コミュニケーションの基本		4
7. 社会人基礎力の理解 働きかけ力		2			
その他		関連科目			
		・キャリアディベロップメントⅡ			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-G06
授業科目名			授業形態	学科・コース	
キャリアディベロップメントII			演習	医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	湯山 歩実
授業の目的・目標					
社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。					
授業の概要					
コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練する。 コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。					
成績評価の方法					
出席率および授業態度において評価する。				出席率	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ザ・コミュニケーション</li> <li>・専門学校物語</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 1年次の振返り			2		
2. 社会人基礎力の応用					
実行力			2		
柔軟性			2		
発信力			2		
働きかけ力			2		
状況把握力			2		
計画力			2		
主体性			2		
想像力			2		
ストレスコントロール力			2		
3. グループワークによるコミュニケーションスキルアップ			10		
その他			関連科目		
			・キャリアディベロップメントI		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度	
				科目コード	A-G07	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
就活ゼミ I		演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	杉森 千夏	
授業の目的・目標						
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。						
授業の概要						
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。						
成績評価の方法						
出席率および授業態度において評価する。				出席率	50%	
				授業態度	50%	
使用テキスト・教材						
・就活ノート						
授業内容・授業計画						
1. 働くということ・社会人としての自覚 自己分析・自分の魅力探し 就職活動の流れ 本校における提出書類の確認 就職コーナーの活用 Web サイトでの情報収集 業界研究・企業研究 求人票の味方、給与・保険制度		時間数	2	2. スーツ講座 3. メイク講座 4. 就活セミナー 5. 履歴書作成 6. 自己紹介書作成 7. 送付状作成 8. 面接練習	時間数	2 2 2 10 2 2 8
その他			関連科目			
			・就活ゼミ II			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-G08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
就活ゼミⅡ		演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	湯山 歩実
授業の目的・目標					
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。また、医療現場において大切な思いやり、ルールなどを今一度確認し、実習やインターンに備える。					
授業の概要					
就職活動をスムーズに行うために、送付状やお礼状の書き方など、より実践的な知識を習得する。また、8月に控える医療機関実習に向けて、必要な知識の補填を行うと共に、実習を終えての報告会を1年生に向けてプレゼンテーションを行う。					
成績評価の方法					
実習報告のプレゼンテーションを主とし、授業への参加態度や出席率を加味して評価を行う。				課題	40%
				授業態度	30%
				出席率	30%
使用テキスト・教材					
・就活ノート					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 電話対応講義			2		
2. 企業・業界研究			2		
3. 病院実習について			2		
4. ハローワーク登録・利用説明			2		
5. 電話対応演習			2		
6. 面接時、実習時のマナー			2		
7. 受付対応演習			2		
8. 受付対応演習			2		
9. お礼状、送付状等の書き方			2		
10～13. プレゼンテーション準備			8		
14～15. 実習報告会			4		
その他			関連科目		
			・就活ゼミⅠ ・病院実習		



シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-G09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミ I		演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	各担当
<b>授業の目的・目標</b>					
各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養科目を開講する。履修は学生の希望アンケート調査により決定する。学生は複数の講座から選択し、身に着けることを目的に開講する。					
<b>授業の概要</b>					
各科の専門だけでなく幅広い教養を身に着け、学習の視野を広げることは、今後の社会に出たときにも役立つことが多いと思う。普段の授業ではできない教養を積極的に身に着けてほしい。					
<b>成績評価の方法</b>					
各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。					
<b>使用テキスト・教材</b>					
各講座により異なる。					
<b>授業内容・授業計画</b>					
DTP コーヒー講座 一般常識 英会話 イラスト入門 ゼミナール (中国語) インタビュー ワープロ検定 (準1級) ワープロ検定 (1級以上)		時間数 30	POP デザイン ゼミナール (ピアノ入門) ゼミナール (体育Ⅱ) ゼミナール (運転と安全Ⅰ) ゼミナール (コミュニケーション) ゼミナール (インテリア植物の育て方)		時間数
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				A-G10		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅡ			演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	杉森 千夏	
授業の目的・目標						
C&C 医療教育統合システムの操作方法を学び、レセプト作成ができるように学習する。 医事コンピュータ技能検定3級・2級取得を目指す。						
授業の概要						
C&C 医療教育統合システムの操作方法を習得し、医事コンピュータ技能検定のオペレーション問題を60分以内に2症例解くことができる力を身に付けるため授業内で様々な症例のレセプト作成を行う。						
成績評価の方法						
授業態度、授業内で実施する課題の評価にて総合的に評価する。					課題 40% 授業態度 60%	
使用テキスト・教材						
カルテ例題集						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. システムの動作確認			4			
2. カルテ例題集を使用し外来レセプト作成			8			
3. カルテ例題集を使用し入院レセプト作成			8			
4. 過去問			10			
その他				関連科目		
				検定対策 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-G11
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅢ		演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	各担当
<b>授業の目的・目標</b>					
各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養科目を開講する。履修は学生の希望アンケート調査により決定する。学生は複数の講座から選択し、身に着けることを目的に開講する。					
<b>授業の概要</b>					
各科の専門だけでなく幅広い教養を身に着け、学習の視野を広げることは、今後の社会に出たときにも役立つことが多いと思う。普段の授業ではできない教養を積極的に身に着けてほしい。					
<b>成績評価の方法</b>					
各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。					
<b>使用テキスト・教材</b>					
各講座により異なる。					
<b>授業内容・授業計画</b>					
DTP コーヒー講座 一般常識 英会話 イラスト入門 ゼミナール (中国語) インタビュー ワープロ検定 (準1級) ワープロ検定 (1級以上)		時間数 30	POP デザイン ゼミナール (ピアノ入門) ゼミナール (体育Ⅱ) ゼミナール (運転と安全Ⅰ) ゼミナール (コミュニケーション) ゼミナール (インテリア植物の育て方)		時間数
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				A-G12		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅣ			演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	山本 葉子	
授業の目的・目標						
パワーポイントの使い方を覚え、人前で自分の考えを発表することを経験する。						
授業の概要						
人前で自分の意見を述べる難しさを経験し、自分の作品のプレゼンテーションに役立てて欲しい。						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題提出</li> <li>プレゼンテーション発表 (グループ)</li> </ul>				課題	40%	
				発表	60%	
使用テキスト・教材						
・30時間マスター パワーポイント2019						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. プレゼンテーションの説明 概要・重要項目			1	6. 病院実習の発表プレゼンテーションの作成		10
2. パワーポイントの作成・操作方法 スライド作成 (文字・図の挿入、色、アニメーション) スライドショー・ノート			5			
3. シート作成 確認シート・ストーリーシート・ ストーリーシート完成版・情報シート			2			
4. 課題作成			10			
5. 発表・まとめ			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-G13
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスマナー I		演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	田口 奈緒美
<b>授業の目的・目標</b>					
①社会人としての基本的なビジネスマナーを身につける ②社会に出てから恥ずかしくない最低限のマナーを身につける ③社会人としての立ち振る舞い、身だしなみ、言葉遣いを身につける					
<b>授業の概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、敬語の小テストを実施し、適切な言葉遣い(敬語)を繰り返して学習する</li> <li>・ロールプレイングを数多く取り入れ、実践に近い電話応対、名刺交換などを学習する</li> <li>・グループワークを出来るだけ取り入れ、連携、協調性を深める</li> </ul>					
<b>成績評価の方法</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度、期末試験、毎回の小テストの得点を総合評価した上で決定する</li> <li>・その他、ビジネス文書の一環として、暑中見舞い、年賀状、手紙など実際に投函する</li> </ul>				定期試験	50%
				授業態度	20%
				小テスト	15%
				課題	15%
<b>使用テキスト・教材</b>					
ビジネスマナー (有限会社グロー) 講師作成テキスト・プリントなど					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 自己紹介		2	6. 電話応対		10
2. コミュニケーション		6	・かけ方・受け方		
・相手の気持ちの受け取り方			・伝言メモの書き方		
・自分の気持ちの伝え方			7. 接遇の心得		10
・傾聴			・来客応対		
3. 第一印象の大切さ		6	・案内の仕方		
・身だしなみ・立ち居振る舞い			・名刺交換		
・笑顔・姿勢			・湯茶の接待		6
・お辞儀			8. アポイントメントの取り方		
4. 報告・連絡・相談		6	・電話でのアポの取り方		
5. 敬語		10	・アポを取ってから訪問まで		4
・敬語の種類			9. 訪問の仕方、注意		
・場に合ったふさわしい言葉の遣い方					
・ビジネス的慣用句					
<b>その他</b>		<b>関連科目</b>			

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2024年度
						科目コード	A-G14
授業科目名			授業形態		学科・コース		
ビジネスマナーII			演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	60	2	根上 裕恵		
<b>授業の目的・目標</b>							
「ビジネスマナー」は社会人にとって他者とのコミュニケーションを円滑にし、より自分らしく社会貢献するために必要な知識である。ビジネスマナーの意味をしっかりと理解し、マニュアルとしてではなく相手への気持ち・思いやりを自然に体現できる人材を育成する。							
<b>授業の概要</b>							
「信頼される医療事務」を目指し、様々なビジネスシーンでの立ち居振る舞いやその行動の意味を学んでいく。数年後の自分をイメージし授業内や課題で病院内や患者とのかかわりの具体例を提示し「想像する力」を鍛えるよう指導する。テキスト内のケーススタディから自分だったらどうするか?の視点で取り組みトラブルにも即対応できる人材を育成する。							
<b>成績評価の方法</b>							
試験の得点・課題・授業への意欲の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は質問への理解度と授業に対する意欲(自分だったらどうするか?と考えられているか)を併せて判定する。						試験 50%	課題 30%
						意欲 20%	
<b>使用テキスト・教材</b>							
患者接遇パーフェクトレッスン(医学通信社) 演習課題(自作)							
<b>授業内容・授業計画</b>							
			時間数				時間数
1.	オリエンテーション	2		16.17.18	報告・連絡・相談		6
2.3	「挨拶」「返事」「表情」	4		19.20	来客対応		4
4.	姿勢・お辞儀	2		21.22	上座・下座、呈茶		4
5.6.	言葉遣い・敬語	4		23	小児患者への理解・対応		2
7.8	言葉遣い(敬語の使い方)	4		24	障害者・外国人への理解・対応		2
9.10	接遇の基本	4					
11.12.13	クレーム対応	6		25.26.27	高齢者・認知症への理解・対応		6
14.15	電話対応	4		28	タイプ別患者の関わり方		2
				29.30	対人・4つの気質の理解		4
<b>その他</b>				<b>関連科目</b>			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	A-SR03
授業科目名		授業形態		学科・コース		
手話		演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	沼津市手話通訳者の会 青木明美 他5人	
<b>授業の目的・目標</b>						
手話の技術と障害者問題や聞こえないことを学ぶことにより、卒業後、それぞれの進路（職場や地域）で、自らが障害者に対する理解者になること。学生が主体的に参加する授業、グループ討議等で、意見交換し話し合いながら、考える力・伝える力を身につける。						
<b>授業の概要</b>						
毎回、講義と手話の実技とセットで行う。講義では、聴覚障害者を取り巻く環境や制度、障害者観を学ぶ。また、沼津市聴覚障害者の会の聴覚障害者当事者から、聞こえないことで不便なこと・困っていること・学生に伝えたいこと、などを話す授業を数回行う。聴覚障害者と交流することで、伝える・伝わったを体験してもらう。						
<b>成績評価の方法</b>						
期末試験は、講義から出題する筆記試験と、手話の読み取り試験を行う。また、感想文の提出と、総合的に評価する。					期末試験	80%
					感想文	20%
<b>使用テキスト・教材</b>						
・沼津市手話通訳者の会作成のテキスト						
<b>授業内容・授業計画</b>						
		時間数			時間数	
1. 手話を学ぶにあたって 手話の基本	2	7. 手話実技 当事者から学ぶ			2	
2. 手話の基礎知識 手話実技	2	8. 手話実技 障害者観①			2	
3. 手話実技 聴覚障害者の生活体験から①	2	9. 手話実技 障害者観②			2	
4. 手話実技 ろう重複・盲ろうについて ろう重複障害 生活体験から	2	10. 手話実技総復習			2	
5. 聴覚障害者の生活体験から② 手話通訳とは・・・立場と役割	2	11. 講義の授業を振り返って			2	
6. 手話実技 聴覚障害者の生活体験③	2	12. 試験			2	
		13. 聴覚障害者と交流しましょう			2	
		14. グループ討議			2	
		15. スピーチ「授業を受けて」			2	
<b>その他</b>		<b>関連科目</b>				
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR04
授業科目名		授業形態		学科・コース	
メディカル英語		講義		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	喜多 絹子
<b>授業の目的・目標</b>					
医療の現場で使う専門的な言い回しを英語でどのように表現するかを学習し、自然に口から出てくるように繰り返し練習していく。また、専門的な単語とジェスチャーで患者の気持ちを楽にさせることが出来るようになる事を目標とする。					
<b>授業の概要</b>					
ロールプレイングで全員参加の授業とし、毎時間単語と言い回しの小テストを行う。					
<b>成績評価の方法</b>					
授業態度と小テストと筆記試験の結果を総合評価して決定する。				期末試験	60%
				小テスト	20%
				授業態度	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・看護師・医療秘書のための実践英会話					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 正しい発音 身体部位と来院目的		2	12. 次回の受信日と診療時間		2
2. 症状について		2	13. 入院手続き、よくある病気		2
3. アレルギー・過去の病歴の有無		2	14. お金が不足した場合		2
4. 健康保険の種類		2	15. 電話と受付での対応		2
5. 尿検査、体温測定		2			
6. 病院内の案内、XP 検査		2			
7. 書類記入の仕方の説明		2			
8. 薬の用法・容量		2			
9. 副作用について		2			
10. 会計、診察券の説明		2			
11. 保険証を忘れた場合		2			
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		



シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	A-SR05
授業科目名		授業形態		学科・コース		
ペン習字		演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	湯山 歩実	
授業の目的・目標						
・美しく読みやすい文字を書くポイントを学習し、社会生活で発揮できる書写力を身につける。						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読みやすい文字を書くポイントを習得し、自信をもって書けるようにさせる。</li> <li>・病院実習での日誌の書き方を身につけさせる。</li> <li>・履歴書をきちんと書く力を習得させる。</li> </ul>						
成績評価の方法						
授業態度（意欲）、提出物を総合的に評価したうえで決定する。					課題	60%
					授業態度	40%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書の用紙と封筒</li> <li>・実習日誌の用紙</li> </ul>						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 字を書く基本			12			
2. 履歴書の文字（氏名・学歴・資格）			10			
3. お礼状の作成			2			
4. 封筒の書き方			2			
5. 実習日誌の書き方			4			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
人間関係論		講義		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	2	鈴木 由美
<b>授業の目的・目標</b>					
よい人間関係を作る為に「選択理論心理学」を学び、自己をコントロール出来るような考え方を身につける。					
<b>授業の概要</b>					
「選択理論心理学」を通じて、自己をコントロールできる考え方と日常生活での人間関係を円滑にする方法を身につける。					
<b>成績評価の方法</b>					
期末試験の結果を主とし、授業態度を加味して評価する。				期末試験	70%
				授業態度	30%
<b>使用テキスト・教材</b>					
なし					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 自己紹介、選択理論心理学概要		2	12. 総復習・実践練習		4
2. 外的・内的コントロール		2	13. 学期末試験		2
3. 人間関係を破壊する7つの習慣		2			
4. 人間関係を良くする7つの習慣		2			
5. 5つの基本的欲求		4			
6. 全行動		2			
7. うつ・落ち込みを選択する		2			
8. 上質世界		2			
9. 知覚された世界		2			
10. 負のフィードバック		2			
11. 選択理論心理学の実践例		2			
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR07
授業科目名			授業形態	学科・コース	
フラワーアレンジメント			演習	医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	服部 宏美
授業の目的・目標					
花の形、色、対比の美しさ、個性を生かした技術を習得する事に依り、多くの人々に癒しの空間、安らぎをあたえる心豊かな精神を培う。					
授業の概要					
季節の与えられた花材を現代の生活様式、空間に添った花の入れ方を学び、又、色と色との対比の美しさを表現する力を養う。					
成績評価の方法					
出席率を主とし、授業態度を加味して評価する。				出席率	70%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
・花材 700円～800円					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. たてるかたち 2種			4		
2. かたむけるかたち 2種			4		
3. ひらくかたち 2種			4		
4. たてるかたち 3種			4		
5. かたむけるかたち 3種			4		
6. ひらくかたち 3種			4		
7. 瓶花			6		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR08
授業科目名			授業形態	学科・コース	
色彩学			演習	医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	久保田 覚
<b>授業の目的・目標</b>					
通常、医師は白衣を着用している。しかし、手術の際は白ではなく青緑の着衣を着るのはなぜか？どんな色がどんな身体の器官と関連があるか？色の心理的効果、光と色の関係、色彩調和など、身近に色彩の知識を活かせることを目的とする。					
<b>授業の概要</b>					
色の基本や心理的効果を学ぶことにより、仕事や日々の生活に役立てることを目指す。特に医療系の色彩知識としては、眼の仕組み、色覚、色の知覚的な働きを中心に授業をすすめ、色彩調和については日本的な配色方法の他に西洋で考えられた幾何学的な関係による配色を実習する。					
<b>成績評価の方法</b>					
期末試験 50 点、課題①色彩調和「西洋の配色技法・幾何学的関係による配色」15 点、課題②「カラーヒストリー／自分の」15 点、課題③色彩構成「季節のイメージカラー」15 点、授業態度 5 点。点数を%換算。				期末試験	50%
				課題	45%
				授業態度	5%
<b>使用テキスト・教材</b>					
『カラーコーディネーターのための色彩心理入門』 『新配色カード 199a』 授業内容に応じて絵の具、色鉛筆、はさみ、のり、等。					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 自己紹介、色が見えることについて	2	12. カラーヒストリー／自己色彩史			2
2. 色の基本 (色相とイメージ)	2	13. 色彩構成／季節のイメージ			2
3. 色の基本 (トーンと感情効果)	2	14. 自分のイメージカラー			2
4. 色と照明効果	2	15. まとめ、期末試験演習			2
5. 色の共感覚 (色と音の関係)	2				
6. 色の共感覚 (色と味覚の関係)	2				
7. 眼の仕組み／各部位の役割	2				
8. 色彩調和／日本的な配色技法	2				
9. 色彩調和／西洋の配色語法	2				
10. 配色技法の応用	2				
11. 色の記録と伝達方法／色名表示	2				
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※実務経験のある教員が担当する科目である。 ※課題は提出期限を厳守。 ※講師は、色彩教材の製作に携わり、大学・専門学校において色彩学を担当。					

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				A-SR09		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
トータルイメージアップ			演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	込山 まゆみ	
授業の目的・目標						
人の印象は3秒から5秒で決まると言われる。自分のイメージを上げることは、就職の面接や社会人となってからの人間関係にも大きな効果をもたらす。個々の持つ魅力を引き出すために、実践を交えて学んでいくことで、イメージアップの意識を養う。自分の能力を最大限に発揮する環境を作る。						
授業の概要						
トータルイメージを支える8つの要素「顔・表情・言葉・気質・健康・知性・礼儀・服装」を学習する。今の自分を相手にプラスに印象づけるにはどうしたら良いか、すべての項目で「Check」「Try」「Work」を取り入れていく。						
成績評価の方法						
授業内での発言、実習発表、グループワークでの積極性、プレゼンテーション等を総合して評価する。期末試験は行わない。					期末試験 課題	0% 100%
使用テキスト・教材						
印象管理 / トータルヒューマンプロデュース 有限会社グロー パワーポイント (自作)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一印象の大切さ</li> <li>・自分の魅力を引き出す自己紹介</li> </ul>			2	◇聴覚の管理		
◇視覚の管理				<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方</li> <li>・印象的なスピーチ</li> </ul>		4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔の表情・身体の表情</li> <li>・姿勢・身体の癖</li> </ul>			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読</li> </ul>		3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・装い (身だしなみとおしゃれ)</li> <li>・スーツの着こなし</li> </ul>			1	◇対人スキル		1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メイク</li> <li>・色を味方にしよう (パーソナルカラー)</li> </ul>			4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョハリの窓</li> <li>・交流分析</li> </ul>		1
			1			1
			2			
			3			
その他			関連科目			
			ビジネスマナー			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
医療秘書概論		講義		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	湯山 歩実
<b>授業の目的・目標</b>					
医療の歴史から医学進歩について学び、今後も新たな進化が起こっていくことを理解させたい。また、病院経営方法などから病院管理の基礎知識を身に付ける。それらを元にし、医療事務の資質や役割について理論的・体系的に理解できるようにし、医療秘書技能検定試験の取得に繋げていく。					
<b>授業の概要</b>					
医療の歴史は高校までの歴史とは着眼点が違うため、新たな発見が多い。また、歴史に興味を湧くよう、なるべく偉人エピソードで関心喚起に繋げ、他国医療相違や経営なども交えた展開にしたい。					
<b>成績評価の方法</b>					
期末試験結果および実習課題の評価点等を総合評価した上で決定する。				期末試験	80%
				実習課題	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・医療秘書 (建帛社)					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 日本の医療		2	9. 医療と ICT		4
2. 医療界の現状や国際比較		2	10. ケーススタディ		2
3. 医療制度の特徴、様々な医療について		4	11. 医療秘書検定問題に触れる		4
4. 今後の展望、欧米と日本の医療秘書		2	12. まとめ、試験対策		2
5. 医療秘書の役割		2			
医師事務作業補助者とは					
6. 医療秘書の職務知識、実務		2			
7. 実務における情報共有と伝達		2			
現場用伝言ゲーム					
8. 医療ビジネス文書業務		2			
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・検定対策 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR11
授業科目名			授業形態	学科・コース	
医療情報管理			講義	医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	杉森 千夏
<b>授業の目的・目標</b>					
近年の医療機関において医療統計や疾病統計にも関わる DPC/PDPS の重要性は高まるばかりであり、医療事務の基礎知識としても必須項目の一つといえる。大規模病院や急性期病院での即戦力育成はもちろん、今後の医療費包括が広がる可能性にも対応できる医療事務員を育てたい。DPC/PDPS の基礎知識を理解し、包括入院レセプトの作成が出来ることを目標とする。					
<b>授業の概要</b>					
実習課題の評価点等を総合評価した上で決定する。				課題	70%
				授業態度	30%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・DPC の理解と演習 (ケアアンドコミュニケーション)					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		
1. DPC/PDPS とは MDC/ICD10 とは			2	6. 点数計算の方法② 例題による計算演習	
2. 医療機関別係数 医療機関別係数の計算演習			2	7. 点数計算の方法③ 基本と異なる計算 (月をまたぐ場合等)	
3. 診断群分類点数表の読み方 樹形図 (診断群分類の選択)			2	8. 点数計算の方法④ 調整の計算とは	
4. レセプトの基本事項 書き方の基本原則			2	9. 点数計算の方法⑤ 例題による調整計算演習	
5. 点数計算の方法① 基本的計算の手順とポイント			2	10~14. レセプト作成演習	
				15. まとめ	
その他2			関連科目		
			・検定対策Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR12
授業科目名		授業形態		学科・コース	
基礎医学		講義		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	福長 徹
授業の目的・目標					
医療従事者の基盤となる医学知識として「解剖生理学」の学習を行う。人体の構造、機能について学ぶことでその知識の活用が病気の仕組みまでも理解が広がることを促していく。また、実務における患者対応や職員間コミュニケーションにも役立たせていきたい。					
授業の概要					
患者さまの主訴理解や他職種の専門理解の一部として基礎医学を取り入れる。人体構造の把握では人体内臓模型やイラストなどの視覚的情報を多く取り入れて記憶定着を目指していく。また、出来る限り、その応用として各臓器の病理についても少し触れ、医療秘書対策授業の導入にしたい。					
成績評価の方法					
期末試験結果および授業態度等を考慮し評価する。				期末試験	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
・基礎医学 (建帛社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 基礎医学とは		2	9. 内分泌		2
人体の基本			10. 呼吸器系		2
2. 人体の4つの柱		2	11. 消化器系		2
3. 神経系		2	12. 生殖器系		2
4. 感覚器		2	13. 基礎医学まとめ		4
5. 循環器		2	14. 臨床医学導入		2
6. 血液		2			
7. 運動器 (骨格系・筋系)		2			
8. 泌尿器		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・臨床医学 ・検定対策 I		



シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR13
授業科目名		授業形態		学科・コース	
臨床医学		講義		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	福長 徹
<b>授業の目的・目標</b>					
基礎医学（解剖生理学）の学習を基盤とし、実際に現代社会で増えつつある疾患の種類・内容・治療法等に係る講義を行う。解剖生理学で得た知識を引き出しながら、それが実際の症状に繋がるということの理解を促していく。また、医療機関における診断や治療に欠かせない検査や薬の種類・効果などの基礎知識をみにつけながら、疾患名と結びつける。					
<b>授業の概要</b>					
患者さまの疾患理解や他職種の専門理解の一部として臨床医学を取り入れる。人体内臓模型やイラスト、画像などの視覚的情報を多く取り入れて記憶定着を目指していく。また、出来る限り医療略語にも触れておくことで現場の用語にも対応させていきたい。また、医療事務員にとって検査や薬剤に関する知識は必須であるため、検査名と薬剤名と疾患名の一致を目指す。					
<b>成績評価の方法</b>					
期末試験結果および授業態度等を考慮し評価する。				期末試験	80%
				授業態度	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・検査・薬理学（建帛社）		・臨床医学Ⅰ－内科（建帛社）		・臨床医学Ⅱ－外科（建帛社）	
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 検査の基礎知識	2	14. 循環器系疾患治療薬	4		
2. 検体検査①（尿・糞便・血液）	2	心不全・虚血性新疾患・不整脈			
3. 検体検査②（血液生化学・免疫学的）	4	15. 代謝系疾患治療薬	3		
4. 検体検査③（輸血検査・微生物）	2	と尿病・脂質異常症・高尿酸血症			
5. 検体検査④（病理学的・遺伝子・染色体）	2	16. 呼吸系疾患治療薬	3		
6. 生理機能検査①（心機能・呼吸機能）	4	気管支喘息・COPD			
7. 生理機能検査②（脳波・筋電図・超音波）	4	17. アレルギー疾患治療薬	2		
8. 放射線検査	3	花粉症・アトピー性皮膚炎			
9. 薬理学とは 医薬品の種別	3	18. 抗炎症薬 関節リウマチ	2		
10. 医薬品の形状とメリット 医薬品の作用機序	2	19. ホルモン・ビタミン製剤	2		
11. 薬物効果と投与方法	2	内分泌疾患・各種ビタミン欠乏症			
12. 末梢・中枢神経系作用薬 中枢神経系の疾患（てんかん・パーキンソン病）	3	20. 貧血及び血液系疾患治療薬	2		
13. 消化器系疾患治療薬 胃・十二指腸潰瘍	3	貧血・血栓塞栓症			
		21. 感染症治療薬 感染症について	2		
		22. 抗悪性腫瘍薬 悪性腫瘍について	2		
		23. 輸液製剤 輸液とは	2		
<b>その他</b>		<b>関連科目</b>			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		・基礎医学		・検定対策Ⅰ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR14
授業科目名		授業形態		学科・コース	
病院マネジメント		講義		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	湯山 歩実
<b>授業の目的・目標</b>					
病院の内部管理の視点から、広く医療政策、病院マネジメントの知識を身に着ける。また、医療機関には多数の職種がある。その仕事内容や役割を理解し、組織の中で医療事務として求められる役割、働き方を学び考える。					
<b>授業の概要</b>					
病院組織の具体例やエピソードを交えながら、病院という組織の概要を知ること、実務に就いた際にスムーズになじめるようなイメージ作りをしたい。また、医療秘書技能検定試験で問われる、医療機関の組織・運営についての知識を身に着けたい。					
<b>成績評価の方法</b>					
期末試験の結果を主とし、授業態度を加味して評価する。 また、小テストも定期的に行い評価する。				期末試験	80%
				小テスト	10%
				授業態度	10%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・病院のマネジメント (建帛社)					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 病院マネジメントとは		2			
2. 保険診療の流れ、日本の保険医療制度		2			
3. 病院の目的と機能		4			
4. 各部門の業務 診療部門		2			
5. 各部門の業務 看護部門		2			
6. 各部門の業務 副診療技術部門		6			
7. 各部門の業務 事務部門		4			
8. 病院管理の方法		2			
9. 病院の組織、会計		4			
10. まとめ		2			
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・検定対策 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ケア・コミュニケーション		講義		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	杉森 千夏
<b>授業の目的・目標</b>					
医療現場で円滑な対人関係を実現するために必要とされるコミュニケーションについて学習する。その方法として、医療機関で患者説明の機会が多く見込まれる制度の説明実演や患者対応の注意点などについて、就職後活かせるよう習得する。また、医師事務作業補助者の業務の一つである医療文書作成を行い、カルテ読解能力を養う。					
<b>授業の概要</b>					
医療や福祉・介護現場において被援助者との信頼関係が不可欠とされることから、より高度なコミュニケーション能力が求められているため、コミュニケーション能力の向上は必須である。実演形式で学ぶことにより、コミュニケーション能力を高めたい。医療文書作成では、医師事務作業補助者への理解促進とカルテ読解能力、言語力の向上を見込んでいる。					
<b>成績評価の方法</b>					
授業態度、授業内で実施する課題の評価にて総合的に評価する。				課題	80%
				授業態度	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・授業プリントは配付する。					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 病院実習の振り返り	2	10. 医療文書作成演習②	2		
2. 患者負担割合	2	診断書 (生命保険診断書)			
3. 高額療養制度	2	11. 演習①	2		
4. 正しい敬語の使い方	2	診療科当て			
5. 窓口対応、クッション言葉	2	12. 医療文書作成演習③	2		
6. 電話対応	2	医療等の状況			
7. クレーム対応	2	13. 医療文書作成演習④	2		
8. 医療文書の種類、労災、自賠責	2	診療情報提供書、返書			
9. 医療文書作成演習①	2	14. 演習②	2		
診断書 (普通診断書)		診療科当て			
		15. まとめ	2		
<b>その他2</b>		<b>関連科目</b>			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		・病院実習			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR16
授業科目名		授業形態		学科・コース	
介護保険制度		講義		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	湯山 歩実
<b>授業の目的・目標</b>					
高齢者の心身変化やそれに伴う生活支援の在り方について学ぶことで、医療・介護関連の従事者として必要となる接遇や基礎知識の習得を目指す。その上で、介護保険制度にかかわる社会背景や制度のあらまし、また将来の介護の在り方を学ぶことで、医療と共に社会の大きな軸となる介護への理解はもちろんのこと、「地域包括ケア」に対する考え方や超高齢化社会における職業意識を育てることに繋げたい。					
<b>授業の概要</b>					
医療・介護関連の従事者として、患者様や利用者様への接遇や問い合わせ対応など、知識のみならず、実践的な対応方法なども学んでいく。					
<b>成績評価の方法</b>					
筆記試験結果の評価点および出欠席、取組み姿勢等を総合評価した上で決定する。				期末試験	80%
				出欠席	10%
				取組姿勢	10%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・講師作成資料					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 介護の社会化と介護保険制度の創設	2	11. 介護職の職業倫理			2
2. 介護保険制度の仕組み①	2	12. 虐待防止・身体拘束禁止			2
3. 介護保険制度の仕組み②	2	13. リスクマネジメント			2
4. 要介護認定	2	14. 感染症対策			2
5. 高齢者の心身機能の特徴、認知症理解	2	15. これまでのまとめとテスト対策			2
6. 福祉用具の基礎知識、相互実習	2				
7. 介護保険サービスの種類	2				
8. 介護施設の見学	2				
9. 介護保険制度とケアマネジメント	2				
10. 医療と介護の連携 地域包括ケアシステム	2				
<b>その他</b>		<b>関連科目</b>			
		・介護保険事務			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR17
授業科目名			授業形態	学科・コース	
介護保険事務			講義	医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	株式会社ル・グラン 小池 正三
<b>授業の目的・目標</b>					
介護給付請求・レセプト作成等、医療・介護分野の事務部分のみならず、医療・介護分野の根幹の部分をしっかり学び、理解した上で、実社会から求められる技術と知識を持つ人材を育む。それと同時に、これから私たちが直面する社会保障制度上の課題についても、多角的に考えることができるように繋げていきたい。					
<b>授業の概要</b>					
介護保険制度が誕生した背景から制度の現状、制度が抱える歪みや社会問題となっている認知症、福祉用具の取扱いについても学んでいく。実際にレセプトを作成して、介護給付費請求をしている立場から、帳票類作成の意義及び、その重要性について学び、実務に活かせるようにしていく。					
<b>成績評価の方法</b>					
筆記試験結果の評価点および出欠席、取組み姿勢等を総合評価した上で決定する。				期末試験	80%
				出欠席	10%
				取組姿勢	10%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・講師作成資料					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		
1. 介護保険事務概論			2	11. 介護給付費明細書の作成方法②	
2. 介護保険制度の概要			2	12. 介護給付費明細書の作成方法③	
3. 介護サービスの基礎知識①			2	13. 審査結果通知	
4. 介護サービスの基礎知識②			2	14. 地域包括ケアシステムと共生社会	
5. 認知症サポーター養成講座			2	15. まとめとテスト対策	
6. 介護報酬の算定方法			2		
7. 介護報酬請求			2		
8. 主な基本報酬と加算算定要件①			2		
9. 主な基本報酬と加算算定要件②			2		
10. 介護給付費明細書の作成方法①			2		
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・介護保険制度		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
医科診療報酬請求事務		演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	180	6	市原 恵
<b>授業の目的・目標</b>					
診療報酬の算定を理解し、正確かつ迅速に診療録から診療報酬明細書の作成を行える知識ならびに技術を習得することを目標とする。					
<b>授業の概要</b>					
レセプトを作成するには読解力、計算能力、医学的知識等が必要となる。また各単元の知識の積み重ねが必要で、各回の内容を理解出来てないとレセプトの作成が困難となる。授業内では様々な症例の診療録からレセプトの作成する実習問題を多く取り入れる。					
<b>成績評価の方法</b>					
期末試験の得点、提出物の評価点を総合評価したうえで決定する。提出物の評価は、提出期日を過ぎたものについては評価に含めないため提出期日を厳守すること。				期末試験	70%
				課題	30%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬点数早見表 (医学通信社)</li> <li>カルテ例題集 (ケアアンドコミュニケーション)</li> </ul>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数		時間数	
1. 診療報酬概要		4	12. 在宅医療		8
2. 初・再診料		12	13. リハビリテーション		4
3. 投薬		8	14. 精神科専門療法、放射線		4
4. 注射		4	15. 外来レセプト作成		18
5. 医学管理等		8	16. 入院料		12
6. 処置		6	17. 特定入院料		4
7. 手術		2	18. 入院レセプト作成		8
8. 麻酔		4	19. レセプト総合演習		40
9. 輸血		2	20. 保険制度概要		10
10. 検査		12			
11. 画像診断		10			
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬請求事務検定 I</li> <li>医療関連法規</li> </ul>		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR19
授業科目名			授業形態	学科・コース	
医事コンピュータ概論			講義	医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	渡邊 尚明
<b>授業の目的・目標</b>					
基本的な情報処理の用語を理解するとともに、医事システムの操作を習得する。					
<b>授業の概要</b>					
医事コンピュータ技能検定のコンピュータ知識領域問題をクリアできる程度の情報処理についての基本的な知識を身につける。また、医療機関特有のシステムについて、医事システムの一般的な操作方法について習得する。					
<b>成績評価の方法</b>					
期末試験の結果を主とし、授業態度や提出物を加味して評価する。				期末試験	80%
				課題等	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・医事コンピュータ関連知識 (建帛社)					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		
1. コンピュータと情報表現			4		
2. コンピュータの仕組みと動作			4		
3. ソフトウェア			4		
4. ネットワークと情報活用			4		
5. 情報活用の基礎			4		
6. ネットワークの形態			2		
7. セキュリティ対策			2		
8. 保険情報システム			2		
9. 医療情報システム			2		
10. 医事システム操作			2		
<b>その他2</b>			<b>関連科目</b>		
			・検定対策 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	A-SR20
授業科目名		授業形態		学科・コース		
検定対策 I		演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	120	4	杉森 千夏	
<b>授業の目的・目標</b>						
医療秘書技能検定試験及び医事コンピュータ技能検定試験の対策科目。 医療事務員として適切な対応や専門的な医療用語、医療知識について学び、医療秘書検定2・3級の取得を目指す。また、診療報酬請求書をコンピュータによって正確かつ迅速に打ち出せるよう演習し、医事コンピュータ検定3級取得を目指す。						
<b>授業の概要</b>						
他の授業で学んだ法規・基礎医学について復習した後、過去の検定問題を実際の試験時間で解く。また、基本的なパソコンの操作方法から始め、徐々に操作に慣れるよう難易度の低い例題を元に、打ち出す方法を教える。繰り返し過去問題を解くことで、知識を身に付ける。それぞれの模試後に解説をすることで、学生の理解を深める。						
<b>成績評価の方法</b>						
検定試験の結果を主とし、模試の得点や課題、授業態度を含め、総合的に評価する。					検定試験	60%
					課題等	40%
<b>使用テキスト・教材</b>						
なし						
<b>授業内容・授業計画</b>						
			時間数			時間数
1. 学科模試・解説			10			
2. 実技模試・解説			10			
3. 学科 過去問演習・解説			50			
4. 実技 過去問演習・解説			50			
<b>その他2</b>				<b>関連科目</b>		
				・医事コンピュータ概論 ・病院マネジメント ・基礎医学 ・臨床医学 ・医療秘書概論		



シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
検定対策Ⅱ		演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	120	4	湯山 歩実、杉森 千夏
<b>授業の目的・目標</b>					
医療秘書技能検定試験及び医事コンピュータ技能検定試験の対策科目。 医療秘書検定3級取得必須に加えて、より医療知識を深めることで難易度の高い2級・準1級の取得を目指す。また、医事コンピュータに関する基礎知識をもとにし、操作に必要な範囲の情報処理用語を理解し、医事コンピュータ技能検定試験の2級合格を目指す。					
<b>授業の概要</b>					
他の授業で学んだ分野について復習した後、過去の検定問題を実際の試験時間で解く。繰り返し過去問題を解くことで身に付ける。それぞれの模試後に解説をすることで、学生の理解を深める。また、問題演習中では時間計測を行い、時間を意識して取り組む。学習の総まとめでは、直近の過去問題を使用した模試を行う。					
<b>成績評価の方法</b>					
検定試験の結果を主とし、模試の得点や課題、授業態度を含め、総合的に評価する。				検定試験	60%
				課題等	40%
<b>使用テキスト・教材</b>					
なし					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 学科模試・解説		10			
2. 実技模試・解説		10			
3. 学科 過去問演習・解説		50			
4. 実技 過去問演習・解説		50			
<b>その他2</b>		<b>関連科目</b>			
		・医事コンピュータ概論 ・病院マネジメント ・基礎医学 ・臨床医学 ・医療秘書概論			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR22
授業科目名			授業形態	学科・コース	
診療報酬請求事務検定 I			演習	医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	市原 恵
<b>授業の目的・目標</b>					
診療報酬請求事務能力認定試験（医科）の合格を目標とする対策授業。検定終了後は、次年度に受験する検定を視野にいれたレセプト作成を行う。					
<b>授業の概要</b>					
過去問題等を使用して、実際の試験時間と同様の模擬試験を実施する。繰り返し演習を行うことで、レセプト作成や学科の索引にかかる時間を短縮させていく必要がある。					
<b>成績評価の方法</b>					
授業態度、提出物、出席率等の平常点と、授業内で実施する課題の評価にて総合的に評価する。期末テストは実施しないものとする。				平常点	50%
				課題	50%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬点数早見表（医学通信社）</li> <li>保険診療 基本法令テキストブック（社会保険研究所）</li> </ul>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		
1. 学科対策			8		
2. 過去問題演習			34		
3. レセプト作成			18		
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>医科診療報酬請求事務</li> <li>医療関連法規</li> </ul>		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR23
授業科目名			授業形態	学科・コース	
診療報酬請求事務検定II			演習	医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	120	4	市原 恵
<b>授業の目的・目標</b>					
診療報酬請求事務能力認定試験（医科）の合格を目標とする対策授業。検定終了後は、調剤報酬の概要を学習する。その他、より一層ハイレベルな医科レセプト作成の演習を行うことで、医療事務として幅広い知識をつけることを目標とする。					
<b>授業の概要</b>					
一年次に学んだ内容の理解を更に深め、繰り返し演習を行う。一年次より課題の難易度はレベルアップする。					
<b>成績評価の方法</b>					
期末試験の得点、授業内での課題の評価点を総合評価したうえで決定する。				期末試験	50%
				課題	50%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬点数早見表（医学通信社）</li> <li>保険診療 基本法令テキストブック（社会保険研究所）</li> <li>カルテ例題集（ケアアンドコミュニケーション）</li> </ul>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		
1. 過去問題演習			80		
2. レセプト作成			24		
3. 調剤報酬			16		
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>医科診療報酬請求事務</li> <li>医療関連法規</li> </ul>		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	A-SR24
授業科目名		授業形態		学科・コース		
医療関連法規		講義		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	2	市原 恵	
<b>授業の目的・目標</b>						
診療報酬の算定に関する健康保険法、医療法、公費負担制度等の関連法規を学習する。						
<b>授業の概要</b>						
診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定の過去問題に沿った内容を中心に各制度について理解を深める。各検定で使用する資料を授業内で作成、配布するので、検定対策等で資料を活用できるように下準備をしていくことが重要である。						
<b>成績評価の方法</b>						
授業態度、提出物、出席率等の平常点と、授業内で実施する課題の評価にて総合的に評価する。期末テストは実施しないものとする。					平常点	50%
					課題	50%
<b>使用テキスト・教材</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬点数早見表 (医学通信社)</li> <li>保険診療 基本法令テキストブック (社会保険研究所)</li> </ul>						
<b>授業内容・授業計画</b>						
			時間数			時間数
1. 医療保険制度			6			
2. 公費負担医療			2			
3. 療養担当規則			2			
4. 保険外併用療養費			2			
5. 身分法			2			
6. 学科対策			4			
7. 過去問演習			12			
<b>その他</b>				<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>医科診療報酬請求事務</li> <li>診療報酬請求事務検定 I</li> </ul>		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
電子カルテ演習		演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	杉森 千夏
<b>授業の目的・目標</b>					
現代における診療録は電子カルテ化されているものが主流であり、医師事務作業補助としての職務を考慮すると電子カルテの学習は必須事項になりつつある。電子カルテの基本知識を学習したうえで、カルテ読解力の向上はもちろん、入力や操作方法の技術を育成する。また、電子カルテ技能検定の取得を目標とする。					
<b>授業の概要</b>					
医療機関で重要な診療録の基礎知識や扱い方を身につけることで、実務における診療録の重要さや読み込みの必要性を意識させたい。また、問題演習は正確性の他に迅速性も必要であることを学んでいく。なお、実務と練習用ソフトの違いや実際の診療録における医師の書き方についても授業内で話し、現場とのギャップを減らしたい。					
<b>成績評価の方法</b>					
検定試験の結果を主とし、演習内容および授業態度等を含め、総合的に評価する。				検定試験	60%
				課題等	40%
<b>使用テキスト・教材</b>					
なし					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 電子カルテ概論		2			
2. 電子カルテシステム操作説明		6			
3. 問題演習・解説		22			
<b>その他2</b>		<b>関連科目</b>			
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR26
授業科目名		授業形態		学科・コース	
医療関連特別講義		講義		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	岡村記念病院
<b>授業の目的・目標</b>					
医療機関で働く医療従事者の職種や仕事内容について理解し、医療事務員としての補佐方法や関わり方について学び、考える。					
<b>授業の概要</b>					
医療機関内の職務及び役割等について、実際の医療従事者より直接講義を行う。職務中のエピソードや注意点などを通し、他職種の理解を深めるだけでなく、学生自身が医療事務として何が出来るかを考えることで「チーム医療思考」の基礎としたい。					
<b>成績評価の方法</b>					
レポート課題及び出席率を考慮し評価する。				授業態度	50%
				課題	50%
<b>使用テキスト・教材</b>					
なし					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1. 医療と介護の連携/社会福祉士		2	10. 医療憩室の業務/社会福祉士		2
2. 医事の外来業務/医事課外来担当		2	11. 近年の病院事情/社会福祉士		2
3. 看護師の職務/看護師		2	12. 栄養士の職務/管理栄養士		2
4. 病院システム管理/医療情報技師		2	13. 医事の入院業務/医事課入院担当		2
5. 検査技師の職務/臨床検査技師		2	14. 病院データマネジメント/診療情報管理士		2
6. 医師事務作業補助者とは		2	15. 医療経営・病院管理/医療経営士		2
7. 相談窓口業務/医療対話推進者		2			
8. 放射線技師の職務/放射線技師		2			
9. 臨床工学技士の職務/臨床工学技士		2			
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごとレポート課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・病院マネジメント		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
病院実習		実習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	90	3	各医療機関
授業の目的・目標					
学習の総仕上げとして、医療機関において実務演習を行う。					
授業の概要					
実際の医療現場において医療事務の役割、職務を体感することで、座学では学びきれないコミュニケーション能力および、専門知識の向上を図る。また、実習のアポイントからお礼状の送付、実習報告のプレゼンテーションを通じて、ビジネスマナーや基本的なビジネススキルを身に着ける。					
成績評価の方法					
実習中の態度、積極性等について医療機関からの評価を受けた上で決定する。				実習態度	80%
				実習日誌	20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
1. 各医療機関での現場実習		時間数	90	時間数	
その他2		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就活ゼミⅡ</li> <li>・ケア・コミュニケーション</li> </ul>			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	A-SR28
授業科目名		授業形態		学科・コース	
卒業研究		実習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	湯山 歩実
授業の目的・目標					
2年間の学習のまとめとして、医療に関連するテーマを研究する。 また、発表する上で伝える力や、プレゼンテーションスキルの習得を目指す。					
授業の概要					
医療に関連する様々なニュースに注目し、興味をもったことについて調査、研究する。専門用語などを十分に理解し、わかりやすい方法、説明で発表する。					
成績評価の方法					
研究内容、発表内容を主とし、取組み姿勢を含め評価する。				課題	70%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. テーマの選定方法について		1			
2. 研究計画書の提出、スケジュールリング		2			
3. 調査、研究内容のまとめ		15			
4. 論文		12			
5. 中間報告、修正		4			
6. 論文まとめ		8			
7. スライド、紀要、発表原稿作成		12			
8. プレゼンテーション練習		6			
その他		関連科目			